

ご存じですか？

安否確認の黄色いハンカチ



災害発生時、安否確認をすばやく行う方法の一つとして、「黄色いハンカチ（大きく目立つ黄色い布）」を自宅の玄関先などに掲げる方法があります。

自治会などで安否確認を行う際、1軒ずつ訪問することなく、救助の必要性を判断することができます。

「黄色いハンカチ」活用の流れ

- ①「黄色いハンカチ」を玄関先などの見えるところに掲示
- ②地域の自治会が設定した一時避難場所に向かう
- ③救出・救助等の自主防災会の活動に参加

短い間に大きな地震が続いた場合など、「黄色いハンカチ」が掲げられていても、再度の安否確認が必要となる場合があります！